

氏名	武田 美津代	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	基礎看護学				
学位	修士(学術)				
学歴	1984年埼玉県立短期大学第一看護学科、97年放送大学教養学部生活と福祉専攻、2001年文教大学大学院修士課程 人間科学研究科生涯学習専攻、08年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース				
経歴	1995年新潟県立看護短期大学助手、98-2002年埼玉県立衛生短期大学(埼玉県立大学短期大学部看護学科)助手、06年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、09-11年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース講				
所属学会(役職)	日本看護技術学会、日本看護研究学会、日本褥瘡学会、日本排泄・ストーマリハビリテーション学会、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、日本生涯教育学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	2021年度版 准看護師試験問題集	共著	あり	医学書院；p514	天賀谷隆、生井明浩、武田美津代 他(解答者38名)	2020.4
2	はじめて学ぶケーススタディ第2版	共著	あり	総合医学社；p251	國澤尚子、新村洋未、武田美津代 他(執筆者10名)	2020.12
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	シート型体振動計を用いた一人暮らし高齢者の睡眠の見守りと訪問支援の検討	共同		オンライン開催 第27回日本時間生物学会学	○久保田富夫、林裕栄、武田美津代、新村洋未、畔上光代、滑川道夫、三塩操	2020.9
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	シート型体振動計を用いた一人暮らし高齢者の睡眠の見守りと訪問支援の検討	共同		2020年度奨励報告会、埼玉県立大学	○林裕栄、久保田富夫、武田美津代、新村洋未、畔上光代、滑川道夫、三塩操	2021.2
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			訪問看護師育成のための教育システムの機能と課題に関する	研究分担者	2020.4~2022.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	看護過程論		16	科目責任者と授業の事前検討を行い、演習のサポートを行った。看護過程の展開の演習では、オンラインで2~3グループ程度を担当してペーパーベシエントの事例を用い、患者の理解から看護計画立案の指導にかかわった。		
2	看護方法Ⅰ		16	科目責任者と協力し、技術演習が効果的になるよう事前検討を行った上で、技術演習の指導をおこなった。学内演習は限られた時間内に看護の基本技術を学習できるように留意した。		
3	看護方法Ⅱ	○	16	科目責任者して授業を計画し、オンラインによる講義演習を行った。技術演習は自己学習を中心としたが、自宅でも実施可能な内容を吟味して課題を課した。		
4	看護方法Ⅲ		16	科目責任者と協力し、オンライン授業が円滑に進むようにサポートした。看護方法Ⅱとの繋がりを考え、授業運営などを検討して準備した。		
5	看護方法Ⅳ		16	科目責任者と協力し、オンライン授業が円滑に進むようにサポートした。遠隔による技術演習のイメージがつけられるよう、デモンストレーションの撮影を検討した。		
6	看護方法Ⅴ		16	科目責任者と協力し、オンライン授業が円滑に進むようにサポートした。随時、遠隔によるグループワークなどに参加して学生の学びを把握した。		
7	感染管理		8	科目責任者とオンラインによる授業運営について検討し、グループワークなどのサポートを行った。臨床における感染対策が学べるようゲストスピーカーを招き、実践的な活動を知る機会を設けた。		

(2) 演習				
演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1 該当なし				
(3) 実習				
実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1 ヒューマンケア体験実習		2020.9	2施設 (学生10名) を担当した。オンライン実習であったため、グループワークの進捗状況を確認しながら、実習目的に沿った学びができるようにファシリテートした。	
2 基礎看護学実習Ⅱ		2020.1	2年生10名 (5名×2クール) の受け持ち、オンラインによる実習と学内実習を指導した。技術演習の経験が乏しいため、学内実習では個別性を考慮した安全安楽な援助の提供を思考できるように指導した。	
3 基礎看護学実習Ⅰ		2021.2	オンラインによる実習に変更となり、学生オリエンテーションや学内実習の運営 (教室配置) などの事前検討を担当した。	
(4) 論文指導				
対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1 卒業論文	2020.4～2020.12	主指導	2名	副指導 名
2 修士論文		主指導 (指導教員)	名	副指導 (指導補助教員) 名
3 博士論文		主指導 (指導教員)	名	副指導 (指導補助教員) 名
(5) その他				
名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)		
1				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月	
1 埼玉県新卒者など訪問看護師養成プログラム	埼玉県訪問看護ステーション協会	褥瘡ケア、ストーマケアについて	2020.7、 2020.11	
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1 埼玉ストーマリハビリテーション講習会実行委員会	委員		2015.11～現在	
2 埼玉ストーマリハビリテーション実習準備委員会	委員		2019.4～現在	
3 新卒者など訪問看護師養成プログラム作成委員会	委員、ワーキング委員兼務		2016.4～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
メディア等の名称	内容			年月
1 該当なし				
(4) その他				
項目	相手方等	内容		期間
1 該当なし				
5. 学内運営				
項目	内容			期間
1 学科等における委員会等	学生担任 (4年担任)			2017.4～2021.3
2 学科等における委員会等	就職支援プロジェクト			2017.4～2021.3
3 学科等における委員会等	看護学科カリキュラム運営検討会			2020.4～2021.3
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
受賞名	主催			受賞年月
1 該当なし				
7. 特許の取得				
特許名	特許番号			登録年月
1 該当なし				
8. 特記事項				